

令和5年度 江戸川区立大杉東小学校

特別活動全体計画

校長名 高橋 真

【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領	学校の教育目標 よりよい目標を実現する子 ○考える子 ○やさしい子 ○やりぬく子	【地域の実情】 【学校の実情】 【生徒の実態】 【教師の願い】 【保護者の願い】		
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方、考え方を働きかせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。			
目指す児童像	○確かな字力が定着している児童 ○相手を思いやるやさしさなど、豊かな心をもった児童 ○健康を維持する体力、運動に親しみたための体力のある児童			
特別活動の重点目標	一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、生かし、伸ばし合うことができるような集団活動を行い、望ましい集団を育成しながら個々の児童に育てたい資質や能力を育成する。			
目標	学級活動 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描いたために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	児童会活動 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るために諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに、自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	クラブ活動 異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに、自主的、実践的に取り組むことを通じて、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	学校行事 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	(1)学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題の解決に学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ学校における多様な集団の生活の向上 (2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健全な生活習慣、人間関係、健康安全、食育) (3)一人一人のキャリア形成と自己実現(将来像、社会参画)	(7)代表委員会活動 代表委員会は、児童会として学校生活の充実と向上を図るために、学校生活に関する諸問題について話し合い、その解決を目指した活動を行なう。 (1)委員会活動 委員会活動は、主として高学年の全児童が、いくつかの委員会に分かれ、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするための活動をして行なう。 (2)児童会集会活動 全校の児童で行われるもの、複数学年の児童で行われるもの、同じ学年の児童で行われるものなど計画や内容を進め活動を行なう。 (3)クラブの成果の発表 活動の成果について、クラブのメンバーの発見・発展を生かし、協力して全校の児童や地域の人に発表する。	(1)クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 児童が活動計画を立て、役割を分担し、協力して運営に当たること。 (2)クラブを楽しむ活動 異なる学年の児童と協力し、創意工夫を生かしながら共通の興味・関心を追求すること。 (3)クラブの成果の発表 活動の成果について、クラブのメンバーの発見・発展を生かし、協力して全校の児童や地域の人に発表する。	(4)儀式的な行事 学校生活に有意義な変化や折り目に付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の開始への歓迎付けるなどの活動を行なう。 (5)文化や伝統行事、季節の行事の開催や奉賀しの風習等の意義を一緒に学ぶ活動を行なう。 (6)健康安全・体育的行事、心身の健全な発達や健康的な生活習慣の促進等に向けた活動を行なう。 (7)勤労生産・奉仕的行事、勤労の喜びや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う活動を行なう。
主な指導内容	目標の資質・能力を育成するため、全ての学年において、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。	目標の資質・能力を育成するため、学校の全児童をもって組織する児童会において、次の各活動を通じて、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。	目標の資質・能力を育成するため、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。	儀式的な行事 学校生活に有意義な変化や折り目に付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の開始への歓迎を一層高めたり、文化や芸術に対する興味を養ったりすること。 (2)文化的な行事 季節や行事の意義を学ぶことで、それらの意味を理解するなどして、その楽しみや意欲を一層高める。 (3)健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康的な生活習慣の促進等に向けた活動を行なう。 (4)勤労生産・奉仕的行事 自然の中で集団宿泊の体験や、運動に親しみた活動を行なう。 (5)勤労生産・奉仕的行事 勤労の喜びや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験を行なう。
各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図つて指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図つて指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるように指導する。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己的特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようになる。	儀式的な行事 学校や地域の一員としての自覚を高めようとする。 (2)文化的な行事 季節や行事の意義を理解するなどして、それらの意味を理解するなどして、その楽しみや意欲を一層高める。 (3)健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康的な生活習慣の促進等に向けた活動を行なう。 (4)勤労生産・奉仕的行事 自然の中で集団宿泊の体験や、運動に親しみた活動を行なう。
他の教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と一緒に理解し信頼し助け合うことを、みんなで協力して楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力して助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、筋度のある生活をすることを、上学期では、だれに対してても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、進んで新しいものを求めて、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	儀式的な行事 学校や地域の一員としての自覚を高めようとする。
外国語活動	外国语活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国语活動で学んだコミュニケーションの場面や働きこな配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考え方や意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国语活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分との関わりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童会集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊の行事との関連や、総合的な学習の時間に行われる社会奉仕とのかかわりを考える学習活動としての体験活動と、勤労の喜びや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕の行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬老席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得たりする活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域のお囃子や踊りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用するなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。また、地域のスポーツ施設に出向いて、地域のお年寄りによるチーム対戦することなどの活動も考慮する。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいうように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕の行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				